

## ■■■■HSC管内規制器材損傷事故（物損のみ）

- 発生日時:2018年12月8日(土) 12時40分頃
- 発生場所:伊勢湾岸自動車道 上り 30.8kp付近（名港潮見IC～東海JCT）
- 件名 :平成30年度 東名高速道路 ■■■■管内維持修繕業務(緊急事故復旧工事)
- 受注者 :中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
- 内容 :車輛横転事故により管理隊の設置した走行車線規制内での作業中、■■■■の工事車輛(7tユニック)が規制内においてをバックした際、直前に設置してあったLED矢印板に接触し破損させたもの。  
損傷した規制材は予備と交換し車線規制を継続。

- 被災状況: 事故当事者: ■■■■  
被害者: ■■■■  
人的被害:なし  
物的被害:(使用不可)LED矢印板 1基

- 時系列: 12:40 事象発生
- 13:13 現場責任者よりメンテ担当者へ入電。
- 13:16 メンテ担当者より■■■■保全・サービスセンター当番課長へ報告
- 13:45 高速隊現場到着・見分開始
- 13:55 見分終了
- 12/10 8:00 朝礼にて現場代理人より全作業員へ事故内容及び再発防止を周知

- 発生原因      車輛を後進させるにあたり、乗車前に周囲の確認が不十分であった。  
バック誘導を頼める状況ではなかったため、誘導を行わせなかった。
- 今後の対策      ■後進させる際は、バック誘導の徹底をする。  
                  ■上記に伴い緊急時に誘導員が近くにいない場合は、緊急規制を実施している交通管理隊へのバック誘導を確実に依頼する  
                  ■運転手は自分の目で後方の障害物及び現場状況の確認の徹底を図る  
                  ■作業員に対し、安全を最優先した作業を行うよう、誘導方法等を含め繰返し安全教育を十分に実施する。  
                  ■ミラー・バックモニターやアラームブザーに頼りすぎない。  
                  ■なるべく後進しなくてすむよう工夫する。  
                  ■関係者による討議を行い、手順書の再確認を行う。

# HSC管内規制器材損傷事故（物損のみ）

位置図



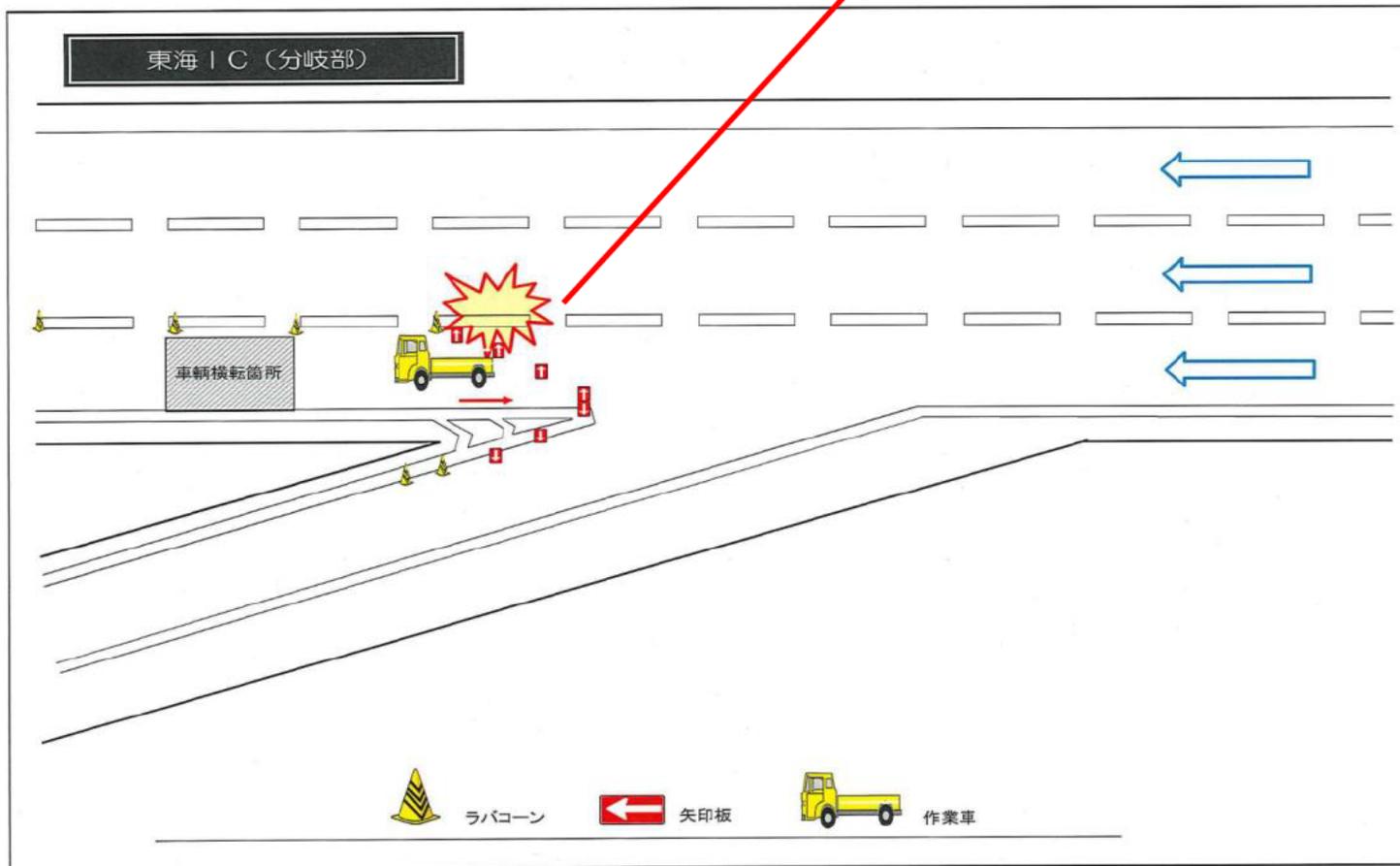
# HSC管内規制器材損傷事故（物損のみ）



名古屋南  
JCT方面

飛島IC方面

矢印板: 1枚



# ■ HSC管内規制器材損傷事故（物損のみ）



【現況写真】

